

省エネ計算シート（給湯）について

使用手順

◎更新前機器が給湯のみの用途で使用されている場合

①省エネ計算シート（給湯）に必要事項を入力して削減量、削減率を求めてください。

◎更新前機器が給湯以外の系統（例えば暖房）と共用していて、給湯分の省エネ計算をする場合

使用燃料の内の給湯分を按分する必要がありますので下記の手順で計算してください。

1. まず給湯量の算出をしていただきますが、その際補助対象となる建物が宿泊施設の場合③宿泊施設（給湯量）シートを、その他の場合は③その他建物（給湯量）シートを選択してください。
2. 必要事項を入力し、給湯量を求めてください。
3. ②給湯按分シートに求めた給湯量他必要事項を入力し、年間燃料消費量を求めてください。
4. ①省エネ計算シートに必要事項を入力して削減量、削減率を求めてください。

※同一給湯負荷のエリアで比較してください。

※各入力シートの青色のセルは必須入力項目、オレンジ色のセルは必須選択項目です。

※給水温度はその根拠を提出してください。

※他の必須入力項目についてもできるだけ数値の根拠（計算式等）を示してください。

●入力内容が改修実態と整合していないと判断される場合、当会より修正を依頼する場合があります。

●「応募の手引き」の“3. 省 CO2(省エネ)計算方法について”に記載されているルールで独自計算をすることも可能です（使用する数値の根拠は必要です）。必ずしもこのシートを使用しなければならないというものではありません。」